

2022年度EC加盟店サイトセキュリティガイドライン検討委員会

一部（非公開＋委員限り）

# 本事業の進捗状況に関する報告

2022年10月17日

独立行政法人情報処理推進機構

セキュリティセンター

# 目次構成

---

1. 事業の全体スケジュールと進捗状況
2. ヒアリング調査の進捗状況に関する報告
3. 脆弱性診断の進捗状況に関する報告

## 1. 事業の全体スケジュールと進捗状況

2. ヒアリング調査の進捗状況に関する報告

3. 脆弱性診断の進捗状況に関する報告



1. 事業の全体スケジュールと進捗状況

2. ヒアリング調査の進捗状況に関する報告

3. 脆弱性診断の進捗状況に関する報告

## ①直近で被害を受けたECサイトへのヒアリング

---

内容は非公開

## ①直近で被害を受けたECサイトへのヒアリング

---

内容は非公開

## ①直近で被害を受けたECサイトへのヒアリング

---

内容は非公開



## ②ECパッケージベンダ、ECサイト構築ベンダ、ショッピングカートASPベンダへのセキュリティ対策状況ヒアリング

---

内容は非公開

## ②ECパッケージベンダ、ECサイト構築ベンダ、ショッピングカートASPベンダへのセキュリティ対策状況ヒアリング

---

内容は非公開

## ②ECパッケージベンダ、ECサイト構築ベンダ、ショッピングカートASPベンダへのセキュリティ対策状況ヒアリング

---

内容は非公開

## ②ECパッケージベンダ、ECサイト構築ベンダ、ショッピングカートASPベンダへのセキュリティ対策状況ヒアリング

---

内容は非公開

## ②ECパッケージベンダ、ECサイト構築ベンダ、ショッピングカートASPベンダへのセキュリティ対策状況ヒアリング

---

内容は非公開

1. 事業の全体スケジュールと進捗状況
2. ヒアリング調査の進捗状況に関する報告
3. 脆弱性診断の進捗状況に関する報告

### ③中小企業の自社構築ECサイトに対する脆弱性診断の実施

脆弱性診断については、以下に示す5つのステップに沿って、実施中。ステップ4までを10月中までに完了予定。

【進捗状況】10/17時点

Step1

#### セルフチェック調査

Step 3 の脆弱性診断に必要な情報として、セキュリティ対策状況、脆弱性診断環境をチェックリストにより把握

Step2

#### ヒアリング調査

Step 1 のセルフチェック調査により把握した内容について、ヒアリング調査により詳細を確認

Step3

#### 脆弱性診断

本番環境に対するリモートでの脆弱性診断（ネットワーク診断、ウェブアプリケーション診断）を実施

Step4

#### 脆弱性診断結果の報告

Step 3 の脆弱性診断の結果について、報告会を開催し、併せて推奨される対策の助言を実施

Step5

#### フォローアップ調査

Step 4 の脆弱性診断結果の報告を踏まえて、概ね3か月後に診断対象企業において新たに対策された内容をメールにて確認

50サイト中、49サイト



50サイト中、49サイト

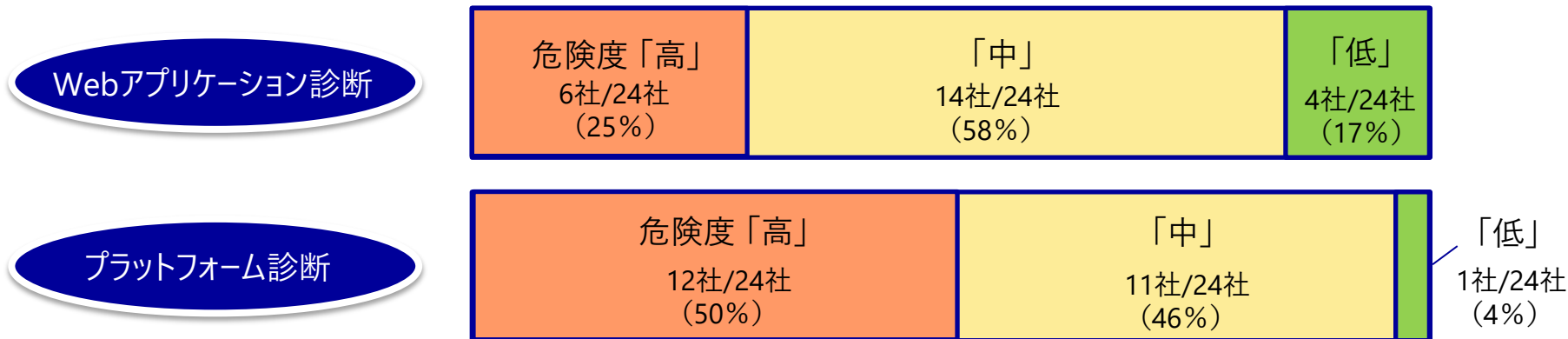


50サイト中、33サイト  
完了

### ③中小企業の自社構築ECサイトに対する脆弱性診断の実施

脆弱性診断結果（10/12時点の速報値）によると、Webアプリケーション診断において、危険度「高」が出ている企業は、24社中、6社(25%)。また、プラットフォーム診断において、危険度「高」が出ている企業は、24社中、12社(50%)。

各社の脆弱性診断における危険度の最高位



危険度「高」の主な事例

**【Webアプリケーション診断】**

- 具体的な脆弱性として、SQLインジェクション、権限昇格・なりすまし、蓄積型クロスサイトスクリプティング、アプリケーションロジック等が検出されている

**【プラットフォーム診断】**

- Webサーバーを含め、サポート切れの古いプロダクトが使用されている
- Apache、OpenSSL、OpenSSH、EC-CUBEなどのミドルウェアで古いバージョンのものが使用されている
- FTPのアクティブモードが有効になっていて、匿名または推測可能なログインID、パスワードが使用されている